

考えてみよう

第1回

「慰安婦」問題

記憶・継承するために

「自分が黙っていたら、また同じことが起きる」

その思いで、日本軍「慰安婦」制度の被害者は、
勇気をもって証言して下さいました。

セクハラなど性暴力の被害者の声と重なります。

さらに、「慰安婦」被害者がうけた暴力には、国家がからんでいます。

昨年12月に95才で亡くなられた被害者である在日朝鮮人の^{ソンシンド}宋神道さんは、
直接に出会ったすべての人に、またドキュメンタリー映画『オレの心は負けてない』によって、
忘れられない感動と生きる勇気を与えました。

「戦争はぜったいにダメだ」と最後まで繰り返されました。大切な遺言です。

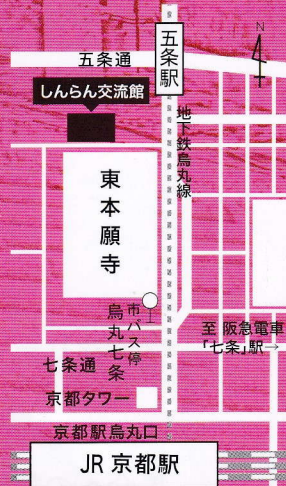
日本軍「慰安婦」問題を記憶・継承することは、どういうことなのか、何をすればいいのか、
一緒に被害者の声を聞いて、考えませんか。

3月18日(日) 開場 午後12:30

真宗教化センター
しんらん交流館 大谷ホール

東本願寺北側 京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町199
※公共交通機関をご利用ください

参加費 一般 500円 / 学生・障がい者 無料



Me Too

